

バスの運転者の確保及び育成に向けた検討会について

趣 旨

バス事業においては、厳しい経営状況、労働時間の長時間化、大型二種免許取得者の減少、高齢化等を背景として、運転者の要員不足が深刻な問題となり、運転者不足を原因とした運行回数の削減といった事例も散見される現状にある。こうした中、地域の生活交通の維持や輸送の安全の確保の観点から、バスの運転者の確保及び育成は喫緊の課題となっている。

このため、学識経験者、バス事業者、労働組合、行政関係者等の関係者による検討会を設置し、バスの運転者の確保及び育成に向けた検討を開始したところ。

検討課題

- (1) バスの運転者に係る現状の分析(バスの運転者の数・所得・労働時間、大型二種免許取得者の数等)
- (2) バスの運転者不足の実態とそれに伴う事業運営への悪影響の整理・分析(業態別(乗合・貸切)の実態の把握・分析、路線・運行回数の削減等の運転者不足に伴う事業運営への悪影響の整理、バスの運転者に対する評価・イメージ・認知度の分析等)
- (3) バスの運転者の確保及び育成に係るバス事業者の先進的取組事例の把握(運転者の確保・育成システム等の整理等)
- (4) バスの運転者の確保及び育成に係る課題の整理及び対応策の検討

検討会メンバー(敬称略)

委員長	山内 弘隆	一橋大学大学院 教授
委員	竹内 健蔵	東京女子大学 教授
	廻 洋子	淑徳大学 教授
	矢ヶ崎紀子	首都大学東京 特任准教授
	鈴木 文彦	交通ジャーナリスト
	平賀 充記	(株)リクルートジョブズ ジョブズリサーチセンター長
	青沼 正喜	宮城交通(株) 取締役社長
	石井 英俊	東武バスウエスト(株) 取締役社長
	野村 文吾	十勝バス(株) 代表取締役社長
	松本 順	(株)みちのりホールディングス 代表取締役
	山田 昌治	両備ホールディングス(株) 執行役員常務
	尾形泰二郎	日本鉄道労働組合連合会 政策部長
	鎌田 佳伸	全国交通運輸労働組合総連合 軌道・バス部会事務局長
	清水 昭男	日本私鉄労働組合総連合会 交通政策局長
	遠山真一郎	全日本鉄道労働組合総連合会 JR東労組 JRバス関東本部議長
	上村 肇	都立蒲田高等学校長
	会場 祥雄	平和橋自動車教習所 副所長
	越智 良典	(一社)日本旅行業協会 業務執行理事
	ほか、厚生労働省等 行政関係者	

第1回 検討会における主な意見や指摘

1. バス運転者の実態

- 早朝6時から夜8時までの長時間拘束というバス運転者の労働形態が課題となっている。
- 低賃金や長時間拘束など労働条件の改善が必要だが時間がかかる。
- バス運転者は、運転職種の中では女性や若者に比較的人気が高い。

2. バス運転者の確保・育成の実態

- 大型二種免許取得費用を全額会社が負担する、当初から正社員として採用する、表彰制度を設ける、などの工夫をしているバス事業者もある。
- 地方部の人材が大都市圏に流れてしまい、地方のバス事業者は運転者の確保が非常に厳しい状況。

3. 女性の積極的な活用

- 家庭で女性の役割が求められる時間帯とバス運転者が必要なピークの時間帯が重なっているため、男女とも同じ労働形態では女性のバス運転者は集まらないのではないかと指摘されている。

4. バス事業の魅力の向上

- 居酒屋やトラック業界などでは、技量を競うイベントを開催し光を当てる努力をされており、バス業界でも「バス甲子園」といったようなイベントを行ってはどうか。
- 近くバス会社を取り上げたミュージカル「KACHIBUS」が東京などで公演される。運転者募集パンフレットにも記載しており、業界のイメージアップに繋がるようなPRが必要ではないかと指摘されている。

スケジュール

- 第1回を平成25年12月20日に第1回検討会を開催。
- 第2回を平成26年4月25日に予定しており、6月頃に取りまとめを予定。